

## 2年 「先輩教えてください！」

### 1 目的

本校卒業生等が在籍する事業所に生徒が実際に訪問し、社会における多様な分野の魅力や課題の発見、職業観の醸成などを目的としている。また2年次のSPⅡβの授業で考えてきたビジネスプランについて発表を行い、社会人からの意見をもらうことで今後の探究活動の糧とする。

### 2 概要

2学年は4月当初から探究活動として「ビジネスプラン」を作る活動に取り組んできた。4月と5月には高崎商科大学の前田先生から「どのようにビジネスプランを作るべきか」に関する講義をしていただき、そこからプランを練りあげた。その後、3～4名程度のグループを組んで、その中でプレゼンを行い、代表となるビジネスプランを決定した。

本校の卒業生に本事業の受け入れ依頼をしたところ、本年は36の事業所が受けてくださった。その受け入れ企業の業種に基づき、生徒に希望する業種を尋ね、訪問先を割り振った。生徒たちは自分たちが訪問する企業やその業種の課題、SDGsとの関連などを調べ、当日に臨んだ。

7月3日の本番ではその質問を先輩たちに尋ねることができ、先輩たちは親身になって回答してくださった。また本年度のSSH活動の中心である、既存のものではない「ビジネスプラン」を先輩に対してプレゼンし、それに講評をいただいた。



龍馬おこのぎ法律事務所



クシダ工業株式会社



信越化学工業株式会社



上越鋼業株式会社

### 3 成果と課題

#### (1) 成果

これらを通して生徒たちはそれぞれの業界が抱える課題とその解決に向けた取り組みについて学ぶことができた。事後アンケートでは「自分が身に着けなければならない能力・スキルとして、新しいことに挑戦すること、具体的にまとめる力、人を引き付けるようなスピーチの力だと感じた。」や「今回の体験を通して学んだことは、高校で学習していることが応用されていることです。物理や数学の考え方が応用されていること、生物などの高校で学習することが生かされていることを知りました。」などの感想があり、現在学習していることの大切さや今後自分に必要な能力などへの気づきなどがあった。

#### (2) 課題

生徒たちの希望する職種と受け入れ先の企業数の問題から、必ずしも生徒達の希望に沿った訪問先にはならなかったように思う。もし可能であれば本校のネットワークをさらに駆使し、受け入れ先企業の開拓が行われれば、生徒たちの本事業に関するモチベーションをさらに高められると考えられる。